

第6回 練馬区地域公共交通活性化協議会  
議事概要

○開催日時
令和7年10月22日（水）午前10時00分～午前11時30分
○会場
練馬区立勤労福祉会館 集会室
○出席者
【出席 28人】 大沢会長、中沢副会長、板谷委員、岩澤委員（代理出席：日下部様）、廣元委員、小瀧委員、近藤委員、秦野委員、鈴木委員、小川委員、三浦委員（代理出席：白岩様）、井上委員（代理出席：石川様）、小池委員（代理出席：伊藤様）、久我委員、上野委員、佐久間委員、中山委員、小林委員（代理出席：戸澤様）、菊池委員、荒井委員、西東委員、森委員、岡本委員、塩田委員（代理出席：森本様）、渡邊委員（代理出席：江口様）、安田委員、大塚委員、星野委員
【欠席 4人】
【傍聴 3人】
○議事
（1）練馬区地域公共交通計画の取組施策等について

○委員からの主な意見

▶公共交通体系に関する意見

- ・交通体系の整理に当たり、利用者だけでなく事業者側の視点も踏まえた記載にすべきである。
- ・鉄道や路線バスの輸送力とグリーンスローモビリティの輸送力が大きく異なることが分かるように記載し、今後の計画策定を進めてほしい。
- ・求められるサービスレベルを具体的に示してはどうか。

▶取組施策に関する意見

- ・既存交通の維持には担い手確保が不可欠であり、運転手だけでなく整備士の確保など、幅広い視点での整理が必要である。
- ・自動運転が自家用車に普及しても公共交通を使い続けるよう、モビリティ・マネジメントに取り組んだ方が良い。
- ・バス路線の再編を取組の一つにすることを検討してはどうか。

▶進め方に関する意見

- ・計画策定後も関係者間で公共交通の課題等について情報交換をしていくべきである。
- ・事業者との間で事前の意見交換等を更に行った方が良いのではないか。
- ・計画策定後も定期的に集まり、計画を修正していく形が良いのではないか。